

## 現状と課題

台風などの自然災害による電柱の倒壊を防ぐことが必要です。

道路の無電柱化を進め、防災性を高めます。



## 【H15.9 宮古島（台風14号被害）】

景観を向上し、個性豊かな地域の創出を支援します。

道路の無電柱化整備を推進し、景観の向上を図ります。

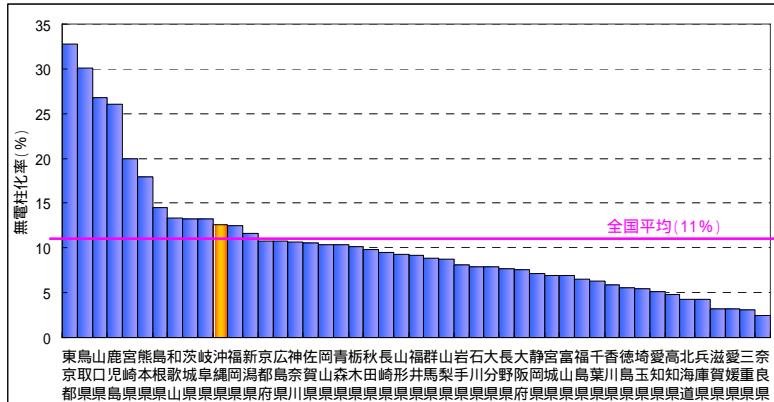


#### 【電線類地中化(新都心DFS・メインプレイス前)】



沖縄県の市街地の幹線道路における「無電柱化率」は、全国平均レベルです。

継続して無電柱化整備を実施していきます。



## 【無電柱化率の全国比較（H17）】

地域住民の無電柱化(電柱・電線類の地中化)整備に対する高いニーズがあります。

優先的に実施すべき施策として、「渋滞の対策」に次いで必要な施策と回答しています。



## 【平成17年度道路整備に対するアンケート調査】



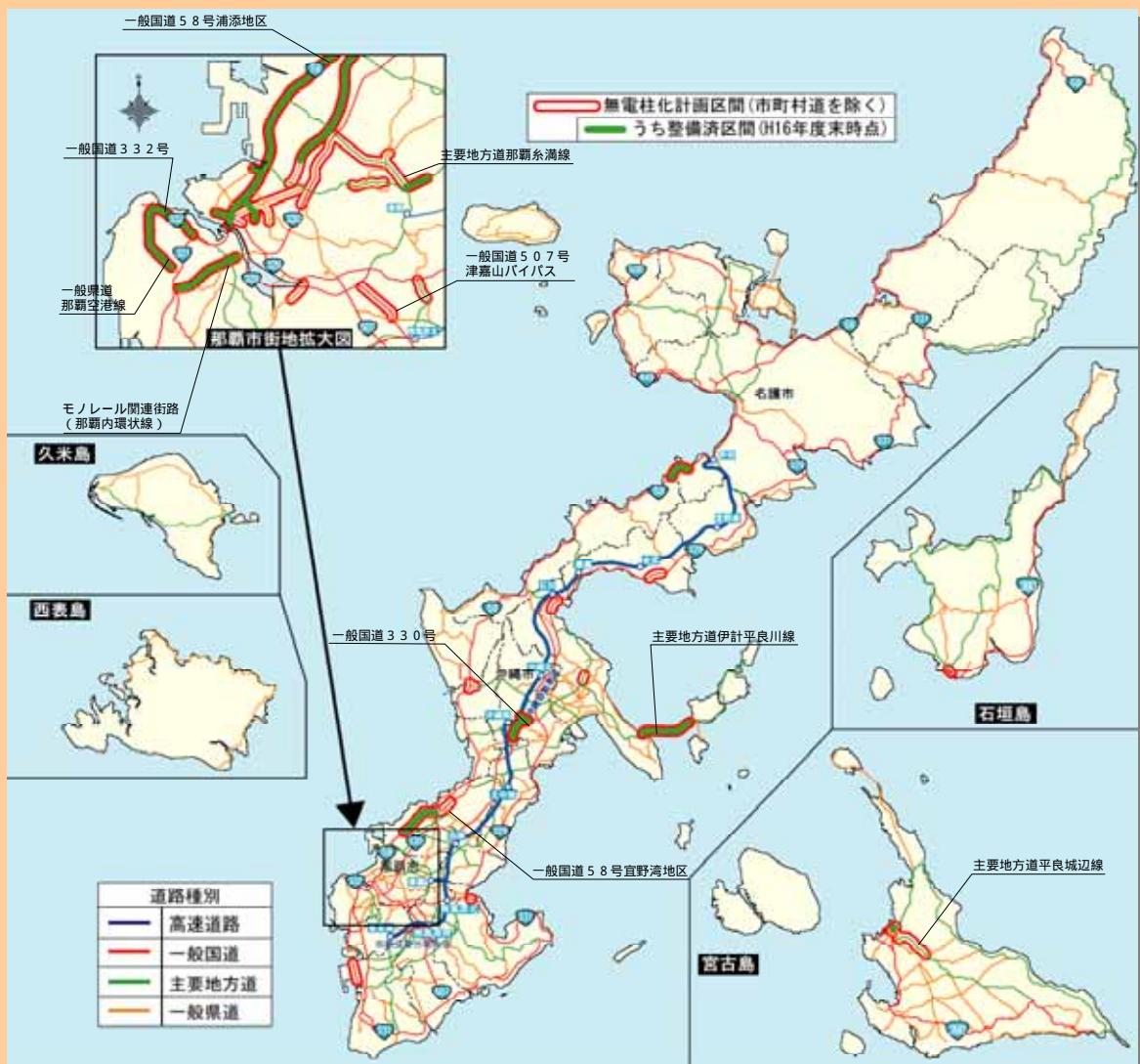
電柱・電線類の地中化を進め、防災性や歩きやすさを向上させるとともにまちの魅力を高めます



## 電柱・電線類の地中化を進める計画の推進

### 無電柱化推進計画に基づく電柱・電線類の地中化の早期整備

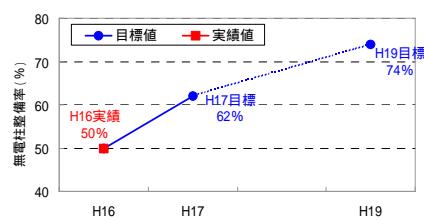
平成20年度までに計画されている計83.215kmの無電柱化の整備を進める無電柱化推進計画に基づき、電柱・電線類の地中化の整備を行います。



### 平成17年度目標



幹線道路等の9.5kmの区間で電柱・電線類の地中化を完了



1 交流

2 活力

3 安全・安心

4 観光

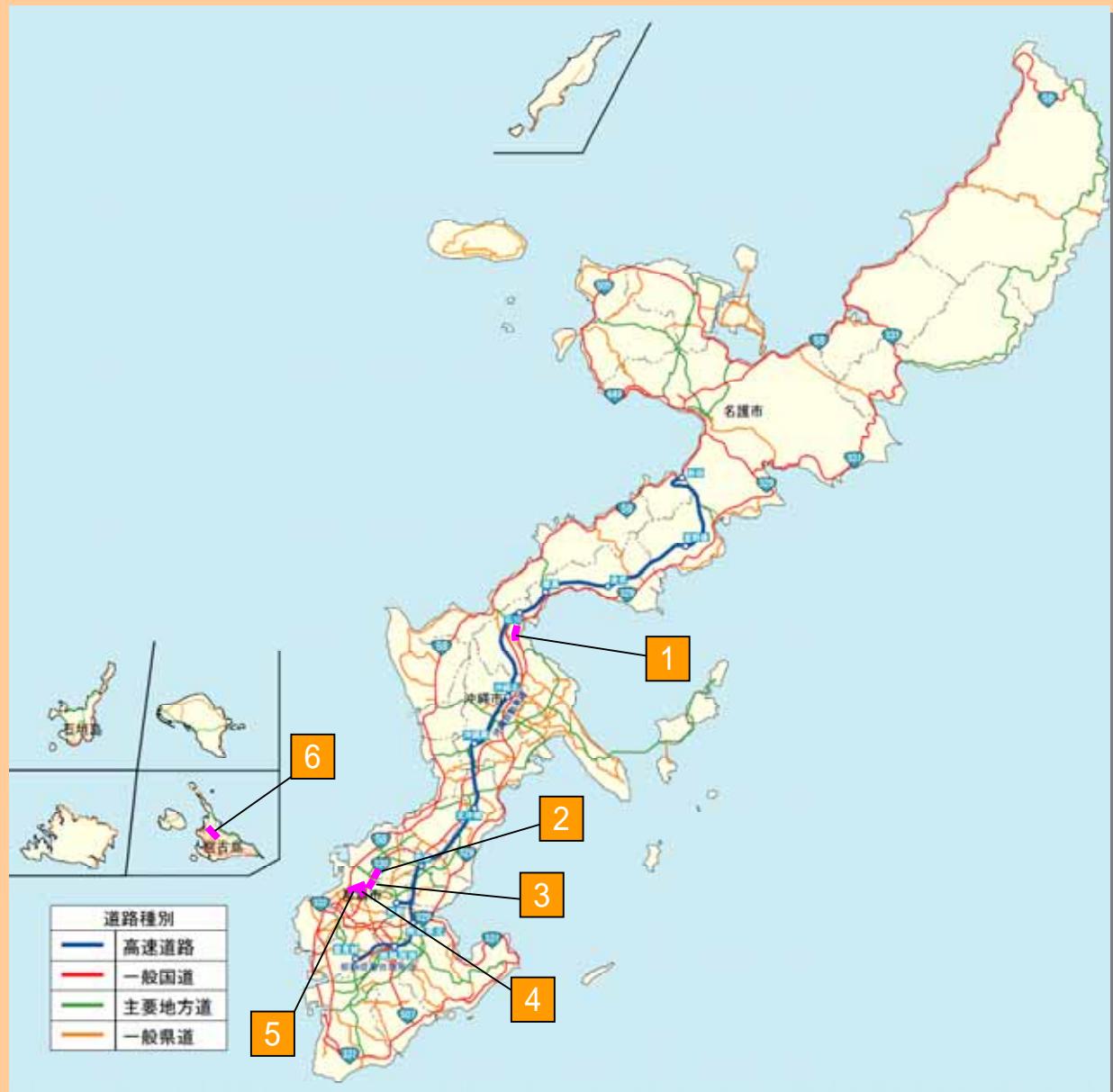
5 むらし



幹線道路等の 9.5 km の区間で電柱・電線類の地中化を完了

平成 17 年度に実施した主な事業・施策

	事業・施策の名称	対策前	対策内容	完了年月	整備事例
1	国道329号	電柱により歩行者・自転車等の円滑な通行に支障。電柱・電線が道路景観を阻害	電線共同溝整備 (うるま市石川地区: 1.86 km)	H18年度完了予定(一部区間(0.62 km)にて事業完了)	
2	国道330号那霸道路		電線共同溝整備 (那霸市安里 ~ 古島間: 2.67 km)	事業完了	B
3	国道330号		電線共同溝整備 (那霸市姫百合 ~ おもろまち駅間: 1.72 km)	事業完了	
4	一銀線		0.95 km の無電柱化整備を実施	事業中	
5	国際通り線		電線共同溝整備(3.20 km)	H19年度完了予定(一部区間(0.49 km)にて事業完了)	A
6	平良城辺線		5.50 km の無電柱化整備を実施	事業中	





## A 国際通り線電線共同溝の整備

歩行者・自転車の通行の円滑化や防災性・道路景観の向上を目的として整備

平成 18 年 1 月に一部区間に於いて電柱の撤去まで完了しました。

全線整備後の平成 19 年度より、国際通りにてトランジットマイルを本格的に実施していきます。

整備前



整備後



## B 国道 330 号那覇道路（那覇市安里地区）電線共同溝の整備

歩行者・自転車の通行の円滑化や防災性・道路景観の向上を目的として整備

平成 17 年 12 月に延長 2.67 km の区間の整備が完了しました。

整備前



整備後



## 平成 17 年度の目標達成度

評価



～幹線道路等における電線類の地中化～

目標

9.5 km 完了

実績

9.5 km 完了



国道 330 号那覇市安里地区など、計 9.5 km で無電柱化のためのインフラ整備が完了し、目標を達成しました。

1

交流

2

活力

3

安全・安心

4

観光

5

暮らし



## 平成18年度目標



幹線道路等の1.86kmの区間で電線類の地中化を推進

平成18年度も無電柱化推進計画に基づき、以下の取り組みを実施

## 【平成18年度に実施予定の主な事業・施策】

	事業・施策の名称	完了予定年度	対策内容	期待される効果
1	国道329号金武町金武地区	-	2.20kmの無電柱化整備を実施	歩道のバリアフリー化
2	国道329号うるま市石川地区	H18年度	1.86kmの無電柱化整備を実施	歩道のバリアフリー化
3	国際通り線	-	3.20kmの無電柱化整備を実施	歩道のバリアフリー化
4	一銀線	-	0.95kmの無電柱化整備を実施	歩道のバリアフリー化
5	平良城辺線	-	5.50kmの無電柱化整備を実施	歩道のバリアフリー化

